

図書をテーマにしたブログによる情報活用能力育成のためのシステム開発と活用の試み

須田 幸次 田中 敦夫 宇野 貴秀
迫田 隆 長嶋 和代

要約

情報活用において子どもたちが互いに協調し高め合っていく経験を持たせるため、学習者間での図書をテーマ(話題)にした情報交流のシステムを校内に構築し、小学校5年生を対象とした情報活用の学習を実施してきた。これにより子どもたちは積極的に情報発信を行い、互いに情報発信する楽しさや必要性を実感できるようになってきている。本研究では、特にキーワードにより検索されることを意識した発信メッセージ作りに重点をおき、その指導の在り方を研究している。1年目では、検索にヒットさせる語を「ナビゲーションワード」と呼ぶようにし、このナビゲーションワードを使ったメッセージ作りを実施してきた。また2年目では、ナビゲーションワードをさらに図書のジャンルを表す言葉、読後感を表す言葉(感性語)、図書の内容を表す言葉(内容語)の3つに分けて考えることにより、メッセージの作成の指導の充実を図っている。

代表者勤務校: 神戸市立南落合小学校
(前任校: 神戸市立下畑台小学校)

1. はじめに

今日の情報社会では、画像や動画、音声等を利用したマルチメディアな情報表現がきわめて一般的になっている。それと同時に、電子メールや電子掲示板、ブログ等文字を中心とした表現による発信も依然として著しく増えている。また、情報のやり取りは知人同士だけではなく、見知らぬ人とのやりとりが日常的になってきていることも大きな特徴であるといえる。このような情報社会での「生きる力」や「豊かな心」を育てるためには、コンピュータに慣れ親しむとともに、コンピュータネットワークを利用して互いに協調し高め合っていく経験を持たせることが大切ではないかと考える。

小学校の児童はコンピュータやインターネットへの関心が高く、これらを興味を持って扱うことができる。高学年の児童はこれまでも、総合的な学習の時間や各教科の学習で、インターネットから情報を収集・活用したり、プレゼンテーションソフトやワープロソフトを使って情報をまとめたりする学習を経験してきている。小学校でも、児童個々にコンピュータを活用する学習はかなり増えてきている。

児童がインターネットから情報を収集するときには、主に情報検索サイト(Yahoo や goo、goole 等)を利用している。このような情報検索サイトでは、求める情報につながる検索キーワードを入力することによって検索が行われ、該当するウェブサイト(検索キーワードに用いた語が含まれるウェブサイト等)のタイトルが数行の要約や紹介文とともに一覧表示される仕組みになっている。児童は、一覧表示された中から、タイトルや数行の文章を参考にして、いくつかのサイトを選択・閲覧して情報を収集している。従って、インターネットを利用して求める情報を効果的に収集するためには、入力する検索キーワードの選定の仕方が大きなカギをにぎっていると言える。しかし、検索キーワードの選定については児童個々のもつ語彙への依存が大きく、これまでにキーワード選定に関する具体的な学習はあまり行ってきていない。従って、効果的なキーワードがうまく設定できず、目的とする情報をなかなか見つけられない児童が多い現状がある。

インターネットから情報を得ようとするとき、児童は、検索キーワードを自分の学習課題のテーマに含まれる語や調べようとする事柄が含まれるジャンルを表す語、調べる内容に関することで一般的によく知られている語を検索キーワードに用いることが多い。児童が自分の学習課題の解決に必要な情報をより効率的に探し出すためには、学習課題に関連するキーワードの知識を広げる必要があると考えられる。

本研究では、情報検索の際に入力する検索キーワードに着目し、その選定が適切に行われ、効果的な情報収集ができるための能力の育成を試みようとするものである。そのために、情報検索者の立場での学習以前に、情報発信の立場を日常的に経験し、発信者の思いや立場を理解する学習を実施する。そこでは、キーワードにより検索されることを意識した情報の発信に重点をおき、発信メッセージに検索キーワードとなる言葉を用いる学習を実施する。この学習により児童の語彙の広がりを研究し、さらに特定の学習課題における検索キーワードの児童相互の伝搬についても考えてみたい。

2. 図書を話題とした情報交流の場の構築による実践と評価

著者の勤務校では以前から、学校図書館の活用を通じた情報活用能力の育成に取り組んできている。読みものを集めた図書室「ブックランド」とは別に、調べ学習に適した図書を集めた教室「博士の勉強室」を設置し、学校図書館の学習情報センターとしての活用を推進してきている。また、朝の読書(おはよう読書)や、保護者ボランティアによるお話の会(にじのくに)等、読む力、聞く力の育成に重点をおいた学習の指導を実施し、児童の読書活動の活性化を試みてきている。このような学習活動を通して、児童の読書への関心は次第に高まりつつあると考えられることから、図書を児童の情報交流の話題とすることによって、この学習をさらに進展させ、児童全員参加による情報交流の学習が進められると考えられる。これまでの学習で、児童相互の図書に関する情報

交流の場としてブックトーク等の実践も行っているが、イベント的で非日常的な扱いであったことは否めず、図書を話題にした話す力、書く力の育成を目標とした取り組みはまだ少ないといえる。そこで、本研究では、校内コンピュータネットワーク上に図書を話題としたブログ(LiBlog)を開設し、児童相互の日常的な図書に関する情報交流を実施し、情報の受信と発信が表裏一体となる学習活動を展開する。受信者を意識した情報の発信および発信者の思いや考えを予測した受信を実施することで、それぞれの学習活動での相乗的な学習効果を測り、その有用性を評価する。

小学校5年生児童を対象に、総合的な学習の時間を中心として授業計画を立て、実践を行った。子どもたちは、図書おすすめメッセージという形で情報を発信する。1年目は、検索にヒットさせる言葉を「ナビゲーションワード」と名付け、発信メッセージ内に意識的に使用する学習を実施した。2年目では、さらに、図書のジャンルを表す語、読後感を表現する語、図書の内容に関わる語に分けて指導した。また、友だちのメッセージについては新規公開順での閲覧に加え、キーワード検索により、情報を絞り込んで閲覧する学習活動を行っている。

3. 図書を話題としたブログ LiBlog のシステム内容

LiBlog サーバ(Linux)を校内ネットワークに接続し、校内のコンピュータから情報を閲覧できるシステムを開発した。このシステムでは学校の外部には発信されない。児童はコンピュータルームのコンピュータを起動し、Webブラウザを使ってこの LiBlog サイトにアクセスする。LiBlog サイトにログインするためには、児童個々のユーザ ID とパスワードが必要となる。

LiBlog には次の4つのインターフェースがある。

LiBlog 画面(図1)では、公開されている図書アイテムが新規公開順に一覧表示され、全ての公開アイテムを順に閲覧できるようになっている。この一覧画面では、図書の題名と、メッセージの文頭30文字が表示されるようになっている。



(図1 LiBlog トップ画面)

一覧表示された内容を参考にいずれかのアイテムを選択・クリックすることで、そのアイテムの詳細ページを見ることができるようになっている。(図2)



(図2 アイテム詳細表示場面)

My-LiBlog 画面(図3)は、自分だけが閲覧できるページで、ここに自分の読んだ本ごとにアイテムを作成する。



(図3 MyLiBlog 画面)

図書登録画面(図4)で自分が読んだ本の ISBN 番号を登録することによりで、登録した本の題名をタイトルとしたアイテムが作成される。一つのアイテムは タイトル(本の題名)、本の著作者名、出版社名、大きさ、シリーズ名、出版国名、別タイトル、注記、内容注記、分類、件名、巻号、PV 番号、ISBN 番号、「おすすめメッセージ」、「感想・ノート」、ポイントの17の項目で構成される。～の書誌データは、ISBN 番号を登録することで神戸市立図書館蔵書データベースの児童書カテゴリに含まれるもの(約55000件のデータ)から自動的に取得できるようになっている。さらにこのデータベースに含まれない図書については、神戸市立図書館蔵書検索サイトからダウンロードして追加できるアプリケーションソフトを

別途開発して利用している。



(図4 図書のアイテム登録画面)

書誌データを自動的に取得することにより、学習者による図書タイトル等の入力の手間がなくなり、子どもたちは学習時間の多くを発信するメッセージ作りに活用できる。また、神戸市立図書館のWebサイトにある図書の表紙画像ファイルを表示することにより、グラフィカルな画面となり、表紙画像から得られる図書情報は、子どもたちの図書選びの大きな参考材料となっている。次の～までが、子どもたちが自ら入力する項目である。MyLiBlogのトップページから、情報を入力するアイテムを選択・クリックすることで、アイテム編集画面(図5)が表示される。このアイテム編集画面で、「おすすめメッセージ」を入力することにより、そのアイテムの公開設定ができるようになる。アイテムを公開するには、「おすすめメッセージ」の入力が必須となっている。公開設定することで、誰もが閲覧できるLiBlogに表示される。「感想・ノート」は読後感の自由記述、ポイントはおすすめ度を5段階で評価するものである。



(図5 アイテム編集画面)

アイテム検索画面(図6)では、発信されているアイテムをキーワードで検索する。検索のために入力するキーワードは、おすすめメッセージを対象とした全文検索のためのキーワードと感想・ノートを対象とした全文検索のためのキーワードの2つを入力して行うようになっている。それぞれのキーワードがメッセージに含まれるアイテムが抽出され一覧表示される。



(図6 アイテム検索画面)

4. 図書ブログ LiBlog を使った学習活動

(1) 本を読む

おはよう読書や図書の時間等を通して子どもたちが図書に親しむ取り組みを進めてきている。児童が読書する機会があり、すべての児童参加による、図書を話題とした交流が期待できる。

(2) MyLiBlog に本を登録する

MyLiBlog は児童一人一人がもつページで、自分自身しか閲覧することができない。ここに、読んだ本を登録する。登録すれば、その本の題名をタイトルとしたアイテムが作成される。子どもたちは自分で購入した本、公共の図書館でかりた本、学校の図書室でかりた本など登録できるが、神戸市立図書館の蔵書データにある本のみ限定されている。

(3) メッセージを入力する。

児童は自分が読んだ本について、友だちへのおすすめメッセージという形で文章を入力する。メッセージの入力はローマ字入力を基本として行う。ただし、タイピング能力に個人差があるため、個々の児童に応じた入力方法で実施する。

(4) アイテムを公開する。

おすすめメッセージを入力したアイテムは、公開設定することにより児童全員が閲覧できる LiBlog に掲載される。ただし、公開するかどうかは子どもたち個々が自分自身で判断して行うようにさせる。

(5) アイテムを閲覧する。

アイテムの閲覧には2つの方法がある。一つは、新規公開順に閲覧していく方法。もう一つは、キーワードにより検索して閲覧する方法である。キーワードによる検索では、入力したキーワードで公開されているアイ

テムのメッセージ文を対象に全文検索を行い、メッセージ内にそのキーワードが含まれるアイテムが抽出される仕組みになっている。

(6)友だちのメッセージを参考に本を読んだり、自分のメッセージを推敲したりする。

友だちのメッセージを読むことで次に読む本を選ぶ参考にしたり、友だちのメッセージ内容のいいところを手本に次のメッセージの作成・推敲を行う。

(1)～(6)の学習活動を繰り返し行い、「みんなが読書に生かせる情報サイト作り」を目指した学習を進めていく。

5. 授業実践での取り組み

5 - 1. 平成19年度の取り組み

小学校5年生(平成19年度は102名、平成20年度は84名の児童)を対象に、総合的な学習の時間15時間を活用して LiBlog を使った学習を実施した。

(資料1 平成19年度学習指導案)

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 須田 幸次 (T1)

山阿 敬一郎(T2)

(1)題材名「みんなの読書に役立つ情報サイトを作ろう」

(2)学習のねらい

情報受信者の期待や思いに応えるメッセージ作りができる。

コンピュータやコンピュータネットワークの扱いに慣れ親しむことができる。

互いに協力してよりよい情報発信を行い、自分たちの読書活動に生かすことができる。

(3)単元計画

時	学習内容
1	・LiBlogへのログイン(ユーザID、パスワード)の練習をする。 ・図書ISBNの意味、記載場所を知る。 ・他者のアイテムを閲覧する。 ・ログアウトする。
2	・パスワード入力の際の注意やエチケットについて考える。 ・MyLiBlogの意味を知る。 ・図書書誌データのアイテムとしての登録の仕方を知る。(アイテム作成) ・おすすめメッセージ、ポイントの入力をする。 ・アイテムの記述内容の更新の仕方を知る。
3	・アイテム作成、記述内容の更新を行う。
4	・アイテム公開の意味を知り、公開設定を行う。 ・アイテムの作成から公開までの操作を自由に行う。
5	・アイテムの閲覧をする。(新規公開順) ・読書に参考になるメッセージについて考える。 ・メッセージ発信での注意やエチケットについて考える。

	・ハンドルネームの扱いについて考える。
6	・検索キーワードを用いたアイテム検索の仕方を知る。 ・自由に検索キーワードを設定しアイテムの検索・閲覧を行う。 ・新たに読んだ本のアイテム登録をする。
7	・アイテムの自由検索・閲覧を行う。
8	・児童一人一人の考えによる新規アイテムの登録及び既存のアイテムの内容更新をする。
9	・他者のメッセージを参考にして、自分自身のメッセージの推敲を積極的にできるようにする。
9	・キーワードによるメッセージ検索の仕組みを考える。(全文検索になっていること) ・自分の発信するメッセージ中に検索と手がかりとなるキーワード(図書を特徴付ける語)が使用できているかを確認する。また、より適切なキーワードを用いてメッセージを推敲する。
10	・他者のメッセージに含まれる言葉に注意して閲覧する。
11	・推奨語表示システムについて知る。 (推奨語表示システムの実装)
12	・推奨語表示システムを利用して文章の推敲を行う。
13	・情報発信者にコメント投稿を行う。 (コメントタグシステムの実装)
13	・カテゴリ名の付け方、カテゴリ分類の方法を知る。 (カテゴリ分類システムの実装)
14	・「MyLiBlog」のカテゴリ分類を行う。
15	・情報の発信・検索・収集・整理を自分の読書に生かす。
日常化	・「おすすめメッセージ」に書く内容と「感想・ノート」に書く内容を区別。 ・発信者の立場や気持ちに立った「みんなの読書に役立つ情報サイト」に生きるアイテムやコメント投稿について考える。

(4) 本時の目標 (第3次 第8時)

検索対象となることを意識した言葉を用いておすすめメッセージを推敲することができる。
協力して、友だちの思いや期待に応えるメッセージ作りができる。

(5) 本時の学習

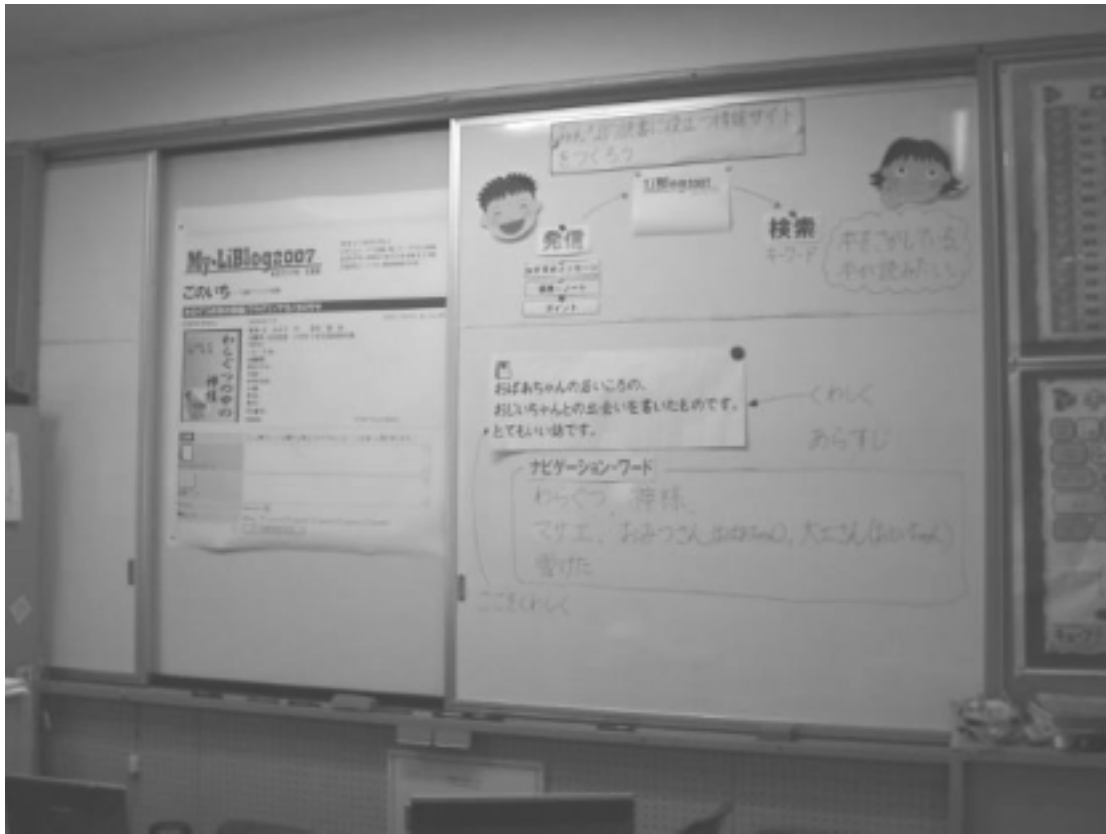
学習活動	支援・留意事項
MyLiblogに登録しているアイテムのメッセージから最も気に入っているメッセージをワークシートに書き写す。	・各自がこれまでにアイテム登録した図書を用意させておく。 ・ワークシートの配布
自分自身のメッセージの中から、キーワードとして適切と考えられる語の抽出の仕方を知る。 ・例文から図書の内容に関わりしかも図書の特徴を表す語を考える。 図書の題名に含まれる語(固有な情報)	・例文を提示し、図書の内容に関わりしかも図書の特徴を表す語に色分けして印をつける。 図書の題名に含まれる語 登場人物名、場所や時代等を表現する語 図書のジャンルやカテゴリを表現する語

<p>登場人物名や場面になっている場所名(固有情報)</p> <p>図書のジャンルやカテゴリを表現する語(一般概念情報)</p> <p>図書を読んだ後の感想を表現する語</p> <p>自分自身のメッセージ中から、図書の内容やジャンルに関わる語、自分自身の感想を表現した語を抜き出しワークシートに記入する。</p> <p>図書の内容を見直し、キーワードを補ってメッセージを推敲し、LiBlogに入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書の内容で、特徴的な語を追加する。 ・自分の感想を表現する語としてより適切で具体的な語を追加する。 <p>自分のメッセージを追加した語で検索してみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索したときに表示された他のアイテムのメッセージと比較する。 ・検索者の立場を考え、手がかりとして効果的な語かどうかを考える。(検索語として使用されるか・検索の手がかりとして適切か) 	<p>読後感を表現する語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類用ワークシートを配布 <p>「図書の内容やジャンルを表す言葉」</p> <p>「検索キーワードになりそうな言葉」</p> <p>「印象に残る言葉」の3つについて 分類例を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発信するメッセージがどのような検索キーワードにヒットさせるのかを明確にもたせる。
---	--

(6) 学習の様子



(読んだ本を片手にアイテムを作成する子どもたち)



(本時の学習での板書)

「おすすめメッセージ」の記述を学習するため、本時では国語の教科書(光村図書)に掲載されている文学作品「わらぐつの中の神様」を取り上げ、その仮想のアイテムを例示して、「おすすめメッセージ」用いるキーワードの学習を行った。

(例示した「おすすめメッセージ」)

おばあちゃんの若いころの、おじいちゃんとの出会いを書いたものです。
とてもいい話です。

(子どもたちの反応)

内容全般で必要なこととして

- ・もっとくわしく
- ・あらすじを

用いたい言葉として

- ・ "わらぐつ"
- ・ "神様"
- ・ "マサエ"
- ・ "雪げた"
- ・ "おみつさん"
- ・ "大工さん"

検索キーワードに用いられる可能性がある語。
この言葉を検索キーワードにして検索したとき、
この本を表示させることができる。情報を探して
いる人を自分のアイテムに案内するための言葉
====ナビゲーションワード

(子どもたちが作成したおすすめメッセージ - 最近公開されたものからの抜粋、括弧内は発信者を示す ID)

陸上の好きなセナという主人公は、絶滅寸前の陸上部をたてなおそうとするんだけど、セナの「友情」「恋愛」を物語っています。ぜひ、読んでみてください！！(15)

この、本はショートショートなので、読みやすいし一つ一つがとてもおもしろいです。初めは分けわからな
いけど、最後にいろいろ意味分かるよ 読んでみて (48)

ハリポタシリーズ最終巻です。結末がおもしろいので、読んでみてね。(29)

ショートショートというので、ショートのなかでとってショートなので、本が苦手な人でも、読みやすいの
で、読んでみてください。ちょっと、分かりにくい話ですが、最後には、「あー」って思える話なので、ぜひ、
よんでみてください(15)

ある装置を手に入れてからとんとん拍子に物事が進んでいくが……。 (87)

学校が舞台になっていて様々なお話が入っています(70)

この本は、短い話がいっぱいあってその話一つ一つがおもしろくて、最初はあまり話がわからないけど最
後に全部すっきりわかっておもしろいほんです。(32)

運命の再会を果たした幼なじみの奇跡なラストが描かれています。(90)

ハリーポッターの最終巻ついに登場。相棒のヘドウィグが死んでしまった。ハリーと死喰い人との、そうぜ
つの戦いが、今始まる。(12)

本当の最終巻。ハリー・ポッターと死の秘宝(下)。ついに迫りくるヴォルデモート……。最後の戦いが幕を
開ける！(11)

この本は、ハリー・ポッターシリーズの最終巻で、今まで以上に迫力と、ワクワク感がすごい、いい本です。
次元と空間を、超えた、魔法の世界！という感じが、読んでいだけで、伝わってくる、素晴らしい本な
ので、是非一度、読んでください！(ハリー・ポッターの事なら、詳しいつもり？です(笑)。とにかく読ん
でみて下さい。)……後、2つ目のカッコになるんですが、(戦いの場面がとても多く、知っている色んな人
が死んでしまう悲しくもある本です(涙)。)1 度、読んでみて下さい。(11)

星が好きだったチロは、満月の夜、星になった。天文台長やいん石捜索員となり大活躍したチロと、星仲
間たちとの、(30)

新しくパン屋を開いたくるみさん。さっそくパンを配達しに動物の家へ。すると、おかしな事件に巻き込ま
れてしまって！？ とてもかわいくて、不思議な動物がいっぱい出てくる楽しいお話です。(49)

つるばら村でひとつしかないパン屋さん。パンを売りにいくとなんと……。いろいろなお客さんが来てすごく
おもしろいです。(80)

夜三日月が出るとタヌキがやって来ます。でも、三日月が出ていない時は、木の上のにぼらず下にいま
す。(16)

それぞれいろんな事情を持った子供たちの友情や成長の物語です。友達や家族って大切だなとおも
いました。(61)

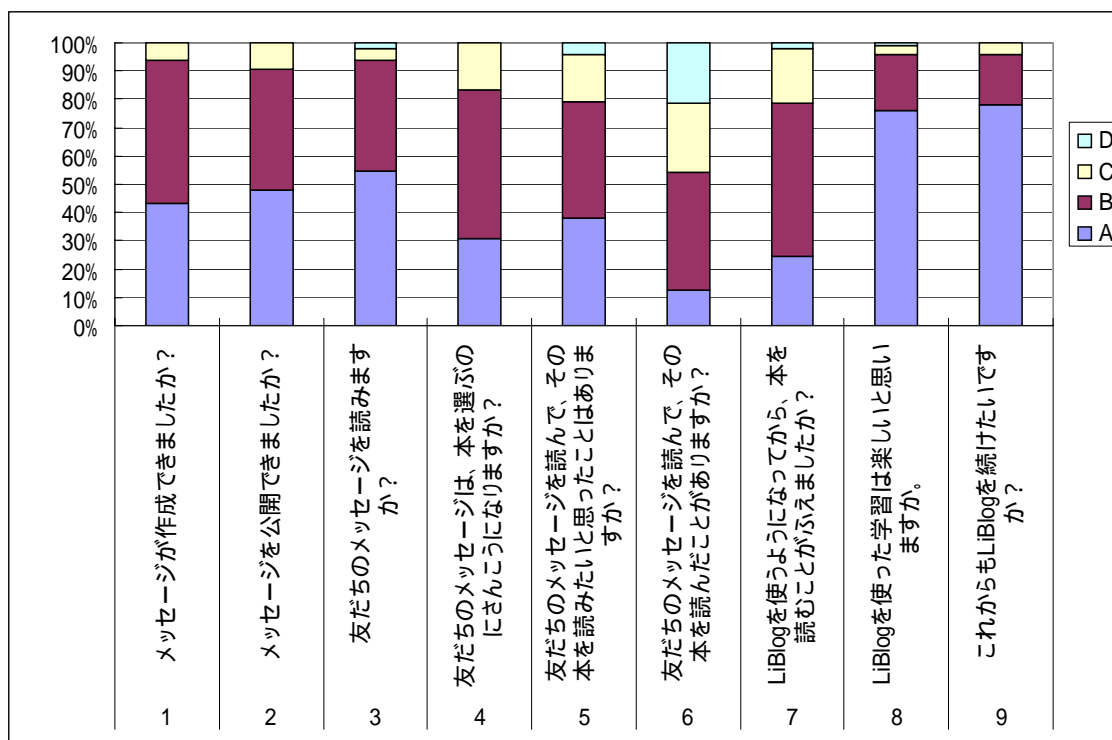
小さなお店で働くくるみさん。いつもはふつうの配達の仕事だけどたまにおかしな仕事をたのまれちゃうち
よっと不思議なお話。(40)

新しい妻のエリザベートと、オルヌカンの城館(シャトー)にやってきたポールはエリザベートの亡き母エ
ルミーナ夫人の肖像画を見て立ちつくした。忘れもしない、幼かったポールの目の前で父を殺した女の
姿が第一次世界大戦のはじまったばかりのフランス。苦しみをかかえたままポールは、戦場へむかう。そ
こで出 会ったルパンのたすけで、オルヌカン城館の因縁が明らかになる。(14)

平成20年3月末までで、公開アイテム数は626、本の種類数は339である。子どもたちが読書活動で情報を有効活用するためにはさらに多くの情報を蓄積していく必要がある。

児童の約45%が自ら発信したメッセージに使用した語と検索時のキーワードとして使用した語が共通していた。共通して使用した語には、冒険(4名)、野球(4名)、戦争(3名)、鬼(3名)、感動(3名)、探偵(3名)、物語(2名)、面白い(2名)等があった。

実践の後、児童にアンケート調査を実施した。



(平成19年度アンケート調査結果)

1～9の設問に対して、A(よい)～D(悪い)までの4段階で評価させた。このアンケート結果より、子どもたちのLiBlog活用状況は概ね良好だといえる。子どもたちの8割近くが「これからもぜひLiBlogを続けたい」と回答している。LiBlogを使うようになってから、本を読むことが増えたと感じている子どもが全体の4分の3以上あることから、読書量を増やすことにも貢献できる可能性が高いと考えられる。子どもたちの評価で「友だちのメッセージを読んで、その本を読んだことがありますか？」という設問に対する評価が低い。読みたいなと思ってもすぐにその本を手にするできないためではないかと考えられる。「友だちのメッセージは、本を選ぶのにさんこうになりますか？」「友だちのメッセージを読んで、その本を読みたいと思ったことがありますか？」の2項目で若干A・Bの評価が少ない。

5 - 2 . 平成20年度の取り組み

平成20年度は、メッセージ内に検索にヒットさせるための語(ナビゲーションワード)を図書の分類を表す言葉(ジャンル)、読後感を表す語(感性語)、図書の内容を表す語(内容語)の3つにわけ、アイテムごとにそれぞれにどのような語があてはまるかを考えさせた。

(資料2 平成20年度 学習指導案)
 第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 須田 幸次

(1) 単元名 「みんなの読書に役立つ情報サイトをつくらう」

(2) 単元目標

読み手を意識した図書おすすめメッセージの作成ができる。

図書の内容を的確に捉え、簡潔で印象的な図書おすすめメッセージを作成することができる。

読書への興味関心を深め、自分自身の読書活動を振り返ると共に、他者の読書経験を参考にして、次の読書活動に生かしていくことができる。

(3) 学習計画

第一次 ・LiBlog の使い方を知り、ユーザ ID とパスワードを用いてログインする。

・読んだ図書の ISBN を入力し、LiBlog にアイテムを作成する。

・図書おすすめメッセージ、図書おすすめ度を入力して、アイテムを公開する。

・他者のアイテムを新規公開順に閲覧する。

第二次 ・メッセージの内容を、図書のジャンルを表現する言葉や読後感を表す言葉を用いて推敲する。

第三次 ・他者のアイテムをキーワードで検索・閲覧し、自分の読書やアイテムのメッセージ作成に生かす。

第四次 ・LiBlog ブックマークを行う。

(4) 本時の目標(第二次第3時)

図書のジャンルとして考えられる言葉を知り、自分の読んだ図書はどのジャンルにあてはまるかを考えることができる。

ジャンルの言葉を使って、図書おすすめメッセージを推敲することができる。

進んでメッセージを作成し、公開することができる。

(5) 本時の学習

学習活動	支援 ・評価	準備物
<p>これまでに考えた図書ジャンルの言葉を思い出し、新たなジャンルはないか考える。</p> <p>図書「(未定)」のジャンルはどれかを考える</p> <p>ジャンルを表す言葉を使って、簡単なおすすめメッセージを作成する。</p> <p>自分の読んだ本についても、ジャンルを考え、メッセージを作成する。</p> <p>LiBlogにログインし、ワークシートに書いたメッセージを入力・公開する。</p>	<p>最近読んだ本の内容を考えて連想させ、図書のジャンルを表す言葉を広げさせる。</p> <p>だれもが知っている話を提示し、全員でジャンルを考える。複数のジャンルに含まれる場合があることを理解させる。</p> <p>図書の内容を思い出し、積極的にジャンルを考えているか。</p> <p>ワークシートに書き込ませる。</p> <p>ジャンルを表す言葉を使用し、メッセージの表現を工夫させる。</p> <p>図書の内容を振り返り、メッセージの表現を工夫できたか。</p>	<p>ジャンル一覧表</p> <p>図書</p> <p>ワークシート</p>

(児童のワークシートへの書き込み)

LiBlog「本をみんなに紹介しよう」 10

題名 このおじの森の物語
 森の中の海賊船

作者名
 岡田 淳 理論社

キーワード

ジャンル	アドベンチャー
感性語	ドキドキ・ハラハラ
内容語	スキッパー・ふたご・ボート・ トマトム・トワイエム・チーフム・ スミシム・アルボクム・セサリム

↓

おすすめメッセージ

トワイエムの家にあんなの森の森。そこにけ
 首海賊が森にわしたという
 宝を見つける方法が出ていたのです。
 本当に宝を見つけることが出来るのでし
 うか？ ドキドキのアドベンチャーです
 (1071)

LiBlog「本をみんなに紹介しよう」 10

題名
 パイレーツ オフ カリビアン
ワールド エンド

作者名
 T.Tサーランド

キーワード

ジャンル	アドベンチャー
感性語	ドキドキハラハラ
内容語	お宝、金、冒険 ジャック、ピロク ワイルド、 ニッサン、スラ

↓

おすすめメッセージ

てつのお宝をめぐって海を渡るお宝
 がせま、東洋、北極、南極の4大
 が世界の海をめぐらしてお宝を
 探し回っているのだ。このお宝は、お宝
 ジャンルをすくいだし、海を渡るお宝
 お宝をハラハラドキドキするアドベンチャー

図書のジャンル・感性語・内容語を表す言葉については、以下のようなものを取り上げた。

【ジャンル】・・・図書の分類を表す言葉

- ・アドベンチャー
- ・サスペンス ・ミステリー ・ホラー
- ・ハードボイルド
- ・ファンタジー
- ・伝説、昔話 ・笑い話
- ・ラブストーリー ・ロマンス
- ・スポーツ
- ・クイズ、パズル ・あそび
- ・詩 ・エッセイ
- ・サイエンス ・図鑑
- ・絵本
- ・歴史、時代小説 ・ノンフィクション

【感性語】・・・読後の印象を表す言葉

おもしろい、楽しい、うれしい、かなしい、こわい、
 すがすがしい等の形容詞
 ドキドキ、ワクワク、ハラハラ等の擬態語

LiBlog「本をみんなに紹介しよう」 10

題名
 チームふたり

作者名
 吉野 万理子

キーワード

ジャンル	スポーツ
感性語	ドキドキ・おもしろい
内容語	卓球、 <small>スポーツ</small> 大地、純、まこと、長谷川

↓

おすすめメッセージ

卓球部最後のキャプテンは、小笠原最強の部
 会、最強のダブルス組の1人に、5年生の純は、
 ここにそのサウキ、最強の部会、最強のキャプテン、
 が、純とまこと、純、まこと、純、まこと、純、まこと、
 見つけた「ふたりのカタチとは？

[内容語]・・・図書の内容に関わる言葉

登場人物の名前、話の場所や時代

2月19日時点で、おすすめメッセージが入力されているアイテム数は578であり、その全てが公開されている。一人での最多数は28であり、0が5名あった。

(子どもたちが作成したおすすめメッセージ - 最近公開されたものからの抜粋、括弧内は発信者を示す ID)

このお話はSFだよ！千尋が色々な人と出会いながら、冒険して行きます。最後にはお父さんとお母さんに会えてマジ感動_(._.)_(44)

右手・左手がなく右足は半分までしかない産まれつきの重傷。ちゃんとあるのが左足だけ・・・赤ちゃんの時ねがえりは首の力でねがえりしたり口で物を書いたりします。水泳はオリンピックに出るおどすごい選手で歌もオリンピックの開会式で歌ったりと重傷持ってるけどおきらめないで頑張ります。おどろきの伝記本です。(59)

今日は風の強い日(T_T)ピグレットと会う約束をしていたのです！なのに体が軽いピグレットは飛んでいきました。ふくろうの家は壊され、ピグレットとプーサンは滝に流されるはめに！！！！そしてふくろうの家はピグレットの家に(o)ピグレットはプーサンと暮らす事に！よかったね、ピグレット(63)

「そうだ、本気になれよ。本気で向かってこい。関係ないこと全部捨てて、オレの球だけ見ろよ」中学入学を目の前に控えた春休み、岡山県境の地方都市、新田にひっこしてきた(30)

湯浅茂央のかよう私立徳明高等学校は、超ハイクラスである。授業が厳しく、学校を辞めていく生徒も多くはなかった。残りは15人となってしまう。茂央の学校の帰り道、学校を辞めていった三留と出会う。その次の日、学校内に不審者が侵入！。その不審者は銃を持ち、教師の一人を人質にとる。人質に取られた教師は、茂央のクラスの担任。安田寛であった。そのため茂央たちのクラスが指名されてしまった！犯人の命令で茂央たちのクラス以外の人間は外に出されてしまう。次犯人の命令はこうだった「今から2000ピースのパズルを隠す。それをすべて集め、パズルを完成させることが出来れば教師は解放する、しかし完成できなかった場合は、教師を殺す」とのことだった。茂央たちは安田を助けるため、ピースを探すことになった。ミステリー系小説！すごく面白いので是非読んでみてください！(54)

いろいろな変化球のやり方がのっているのでスポーツがにがてな人でもうまくなると思います(43)

いろんな豆知識が書いてあってとっても勉強になります。物知りくんにかちがついた(^_-)mamesiba 大好き！！めくるたびに！！かわいい豆しばが！(89)

料理が得意なレミーの夢は一番のシェフになること。さてこのあとどうなるのか？ぜひみてください！！！！(49)

料理もさいほうも苦手な美奈が見つけた大おばさんのレシピは料理や小物の作り方がかいてあるだけではなくその通りに作ると別世界へ呼ばれるという不思議なレシピでした。(77)

この本は、野球の本で、映画でも公開されたり、NHKチャンネルでも映画が、終わったあとバッテリーがやっていました。この本は、すごく感動する本です。すごくいい本なので、よんでください。(74)

カバ？が自分の仕事を探します。その中のドジな話のがのってる yo!(42)

子どもたちの作成したおすすめメッセージを形態素解析ツール“Chasen”で形態素解析を行い、そ

の品詞情報に基づいて品詞ごとの多用されていた言葉を抽出すると次のようになった。

名詞(数、非自立 一般、特殊 助動詞語幹、非自立 形容動詞語幹、非自立 助動詞語幹、非自立 副詞語幹を除く)

人(61)、本(60)、話(44)、さん(39)、家(32)、お話(31)、みんな(31)、たち(30)、女の子(23)少年(23)、森(23)、日(21)、これ(21)、物語(17)、不思議(16)、恋(16)、それ(15)、ばあちゃん(15)、カロリーヌ(14)、学校(14)、前(13)、ちゃん(12)、屋(12)、今日(12)、子犬(12)、世界(12)、冒険(12)、料理(12)、世界(12)、いろいろ(11)、お父さん(11)、

形容詞

いい(63)、おもしろい(63)、すごく(25)、ない(19)、楽しい(19)、面白い(12)、かわいい(10)、こわい(9) おもしろい(8)、すごい(7)、こ(6)、怖い(6)、なく(5)、はやく(5)、美しい(5)、

副詞

ぜひ(34)、どう(17)、いっぱい(13)、いつも(10)、とても(10)、初めて(8)、なんと(7)、ポンポン(6)

括弧内は出現回数。

名詞と形容詞には、検索キーワードとして活用できる言葉も多く含まれている。これら以外にも、家族や動物、魔法、旅、レシピ、野球といった図書のジャンルを表現する言葉も比較的多く見られた。

5年生児童を対象に、このLiBlogを使った学習について以下のような項目でアンケート調査を行った。

「リブログを使った学習は楽しいですか」という質問に対して、65%の児童が“とても楽しい”と回答し、“どちらかといえば楽しい”と回答した児童を含めると95%になる。

楽しい理由としては、以下のようなものがあつた。

- ・どんな本がおすすめなのか、こんな本があるのかとおもうときは楽しい。
- ・自分が知らない本がたくさんあって「こんなのがあったなー」とか「この本はおもしろそう」とかあるから。
- ・おすすめメッセージを読んで、「この本、読みたいなー」と思った。本が好きになってきたから。
- ・いろんな人のしょうがいしている本や、おすすめメッセージがみれたりして、とても楽しい。
- ・自分が見つけてない本を見つけることができる。
- ・本のおもしろそうなところを見るのがたのしい。
- ・みんなのコメントをみれたりすることが楽しい。
- ・他の人のしょうがいしている本のメッセージを見るのが楽しい。
- ・楽しいと思うところは、いままでよりも、より多くの本を読むことができる。
- ・友達のリブログを読んで、おもしろい本とか分かるから楽しい。

これらの感想から子どもたちは、情報の受信者としての立場で情報を活用していることが分かる。また、次のような感想もある。

- ・あまりパソコンを家では使わないけど、このリブログで使えるし、気に入った本をみんなに教えることができている。
- ・自分の好きな本をみんなに見てもらえるところ。
- ・自分のおすすめしたい本を、パソコンをつうじてしょうがいしたりするのが楽しい。
- ・きにいった本をみんなにおすすめできるのが楽しい。
- ・いろんな本をみんなにつたえられるところ。

- ・本をいっぱいいろんな人にしょうかいできるところ。
- ・みんなに読んでほしい！と思う本をしょうかいできるし、ふだんあまり使わないコンピュータが使えるところ
- ・おすすめメッセージを書くのがたのしい。
- ・リブログで本とかをとうろくして、その本をみんなにしょうかいすることがおもしろいと思いました。

これらの感想からは、情報発信者としての立場で学習活動を楽しんでいることが分かる。さらに、次のような感想もあった。

- ・ハラハラドキドキするようなメッセージがあり楽しい、「おもしろいよ」とかいいかげんなメッセージはつまらない。
- ・かお文字やおなじ文字をいっぱいかいていると楽しくない。

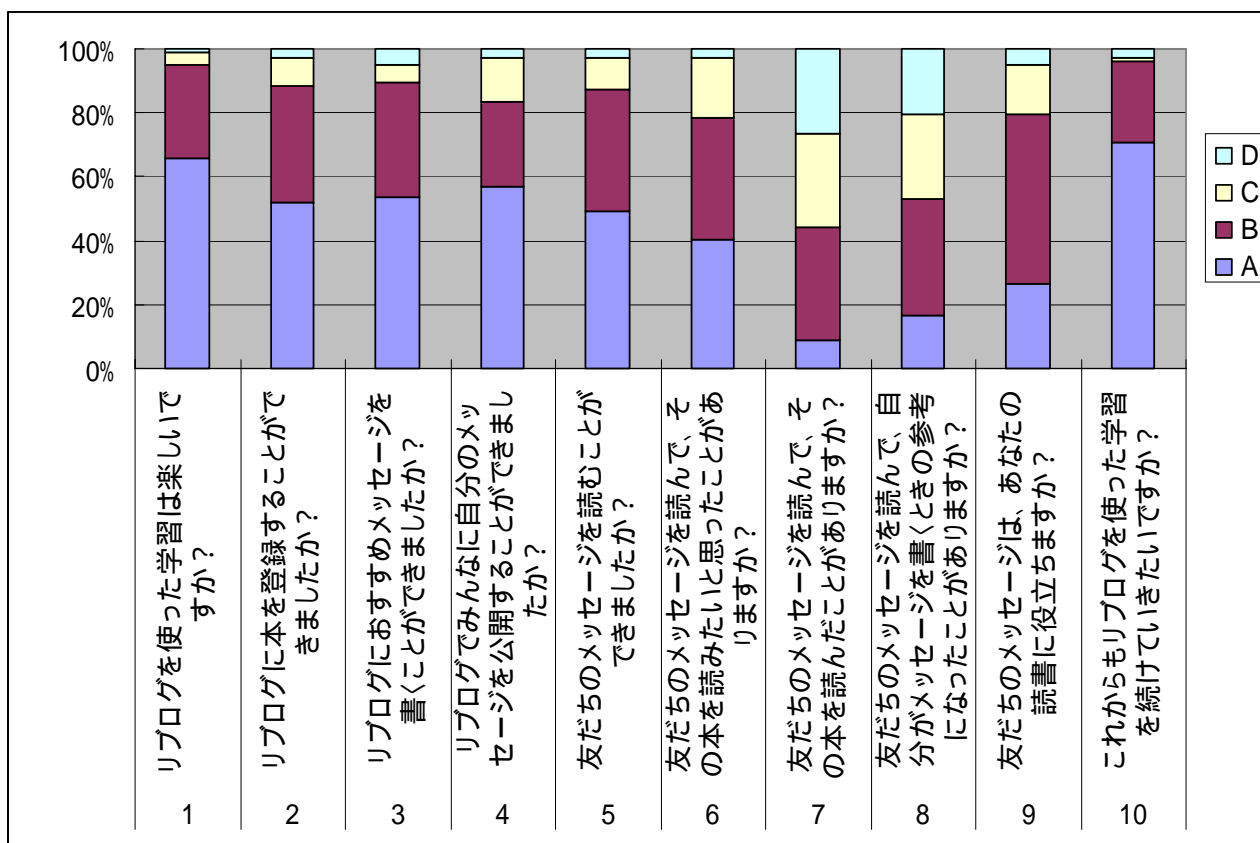
これらの感想は、情報の価値を評価するものである。ただ単に読んだ情報をうのみにするのではなく、子どもたち自身が情報を評価し活用する学習も望めるのでないかと考えられる。

楽しくない理由としての感想には、以下のようなものがあった。

- ・ISBN やおすすめメッセージをうつただけだから楽しくなかった。友達の本をしょうかするならふつうにしょうかすればいい。
- ・ISBN をうっても、本がでてこないから。

新刊の図書や一部の図書については、書誌データがない場合があり、登録できない。登録できないとどうしても子どもたちの意欲を削ぐ結果となる。

「友だちのメッセージを読んでその本を読みたいと思ったことがありますか」という質問に対しては、40%の児童が“よくある”と回答し、“あまりない”と回答した児童は19%，“まったくない”と回答した児童は0であった。LiBlogの活用によって、子どもたちの興味をもった本がたくさんでてきたと考えられる。しかし、「友だちのメッセージを読んでその本を読んだことがありますか」という質問に対しては、“よくある”と回答した児童は9%と少なく、“すこしはある”と回答した児童を含めても44%と児童の半数にも満たない。これは、今回、登録できる図書を学校図書館の蔵書に限らず、児童個人が所有するものも可能としたため、読みたいと思っても手にすることができなかったことが大きな要因ではないかと考えている。「これからもリブログを使った学習を続けていきたいですか」という質問に対して、71%の児童が“ぜひ続けたい”と回答したことから、今後も子どもたちの読書活動を活性化していく方向で継続的・日常的に活用していきたい。



(平成20年度 アンケート調査結果)

6. おわりに

この2年間を通じて、図書を話題としたブログを校内ネットワーク上で活用し、子どもたちの読書活動活性化や語彙の広がりをもととした実践を授業を中心として実施してきた。約3割の児童が本を読むことが“たいへん増えた”と実感し、“どちらかといえば増えた”と思っている児童は半数以上にのぼる結果を得た。“情報交換にコンピュータを使うと便利だ”と考えている児童は全体の約7割あり、子どもたちの読書活動を活性化するだけでなくコンピュータによる情報活用という側面からもこのような学習の小学校高学年段階での必要性が示唆できる。リブログでもっとこんなことができたらと思うことに10名の子どもたちが分類別に表示することをあげている。今回、図書のジャンルを取り上げたことが影響したのか、情報の分類という意識が一部の子どもたちに芽生えてきている。他の学校のリブログを見たいという意見が子どもたちから多くだされたことから、LiBlogを活用した学校間での情報交流の可能性をさぐっていく必要性を感じている。

今回の研究では、子どもたちの間での語彙の広がり詳細に捉えることはできていない。発信アイテムへのコメント投稿といった双方向の学習を充実させていくことにより、語彙の伝搬、言語力の育成等の学習効果を詳細に捉えることができるのではないかと考える。

成果の公表

- 1 児童が共同構築する図書ブログにおける検索が情報発信能力に及ぼす影響. 日本教育工学研究報告集 JSET07-5:11-16
- 2 図書を話題にしたブログでの児童が発信するメッセージにおける語彙の広がり. 日本教育工学研究報告集 JSET08-4:59-62

研究助言者

森広 浩一郎(兵庫教育大学)

永田 亮(甲南大学)

堀口 尚之(神戸市立図書館)

米満 芳人(前神戸市立南落合小学校長)

実施場所

神戸市立南落合小学校

神戸市立玉津第一小学校

神戸市立有野小学校